

高志

長岡高専同窓会報 第20号

発行月 令和2年3月

主な内容

会長あいさつ	1
名誉会長あいさつ	2
副会長あいさつ	3
TOPICS	4,5
事業及び支援	6
部活動紹介	7
体育大会入賞者	8,9
OB通信	10
教職員の異動	10,11
学科生及び専攻科生の進路状況	12
同窓会長賞受賞者紹介	13,14
収支報告	15
新常任理事あいさつ	16
事業年表・編集後記	17

会長あいさつ

(高専電気15回卒) 古田島 智裕



会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平成30年12月1日に開催された同窓会高志会総会におきまして、伊藤恒彦様の後を継ぎ同窓会長の職を拝命いたしました古田島と申します。微

力ではございますが、長岡高専同窓会の発展に向け邁進する所存でございますので、ご指導ご鞭撻宜しくお願ひします。

会員の皆さまに嬉しいお知らせがあります。

本校第八代校長高田孝次先生が、先日瑞宝中綬章を受章されました。

高田先生は、長岡高専専攻科の設置に際し、「専攻科修了」に加え「学位授与機構による学位取得」「日本技術者教育認定制度による技術士補取得」の制度導入を進め、本校の高等教育機関としての発展に努められました。当時は、まだ専攻科に進学する学生が少なかったため、魅力ある専攻科とするための改善を学内の先生方に指示し、先生方の主体性を重視しながら自由な発想で改革を進めた結果、今では優秀な学生が専攻科に進学してくれるようになったということです。また、中越地震の際は、被災した長岡高専の復興のため、強力なリーダーシップを発揮され早期再建にご尽力されました。

このような目に見える形だけではなく、様々な面で長岡高専の発展にご尽力くださいました高田先生

に、この場をお借りしてお礼を申し上げますとともに、この度の受章を心からお喜び申し上げます。大変おめでとうございます。

去る10月5日、サレジオ高専にて「関東信越地区高専同窓会交流会」が開催されました。これは、各高専同窓会役員が集まりそれぞれの同窓会の活動状況を紹介し悩み解消に役立てるとともに、近隣校との親睦を深める目的で3、4年前から始まったそうです。各校同窓会は、事務局はどの校も学内理事(同学校出身の先生)がやられていて、人材不足に悩んでいるそうです。その点本校は学内理事の数は他校の群を抜いています。出身校が好きでないところはなりませんので、本校が魅力ある学校である証拠でしょうか。この利点を生かし、同窓会の目的である「会員相互の親睦を図ると共に工業の発展に寄与する」ことを、より積極的に展開しようと決意して帰って来ました。この会で、次回ロボコンの関東信越地区大会開催校が本校だということがわかりました。皆様には、ロボコンの応援を宜しくお願ひします。

さて、今年は大規模台風などによる被害が甚大となり、自然災害に対する弱さが露呈されました。科学技術が発展したといっても、まだまだ自然災害への対応は道半ばです。会員の皆様と、「工業の発展に寄与する」お話が出来る機会を設けられれば良いなと思っている次第です。

最後に、会員の皆様のご健勝とますますのご発展を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

名誉会長あいさつ

長岡工業高等専門学校長

竹 茂 求



同窓会の皆様へのご挨拶を兼ね、長岡高専の近況をご報告させていただきます。私は前任の仙台高専から第十代校長として長岡高専に赴任して今年で3年目になりました。長岡高専は仙台からも輝いて見えた高専の一つで、良い高専に赴任できたと思えました。

赴任後すぐ、ロボカップの世界大会優勝という学生の活躍を聞きました。大したものだと思いますが、正直な所、その時はその意味することをよく理解していなかったと思います。しかしその意味を理解するのに多くの時間はかかりませんでした。長岡高専は、例えば長岡モデルと呼ばれて注目されるJSCOOP（ジェイスクープ）の活動のように、様々な先進的取り組みで全国高専を牽引しています。それらの取り組みは地域連携教育であり、学生の主体的な活動を喚起する教育と研究との融合です。ロボカップの快挙も、その成果の一つであると今では理解しています。既に半世紀以上の歴史が過ぎた高専は今、新時代に応える大きな変革が求められています。その中で、長岡高専の多くの教職員が取り組む活動とその成果には奇跡を見る思いがしています。しかし、変革は一朝一夕には実現しません。

今年の5月に第八代校長の高田孝次先生が瑞宝中綬章を受章されました。そのお祝いの会の席で次のお話をしました。高田先生の時代、ご存じのように中越地震に見舞われましたが、長岡高専はその復興を成し遂げると共に、認証評価やJABEE対応など社会の要請に応える新たな土壌を作りました。さらに、国際交流の開始や、長岡市と市内3大学1高専との包括連携協定も締結し、今の長岡高専の方向性を示す種が蒔かれました。第九代校長の渡邊和忠先生の時代は、それらの種を育むと共に、次世代教育という新しい種を蒔いて大きな芽へと育てた時代と言えるでしょう。これらは記念誌などの資料や、様々な折の話から伺い知ることができます。そして今、これらの芽は大きく開花し、さらに新たな花を咲かせる活動に多くの教職員が取り組んでいます。活動の大きな指針は、グローバルな時代に応える国際化、地域創生に貢献する地域連携、そして学生の主体的学びの醸成です。

これらの教育の成果は、長岡高専が輩出する人材で評価されるでしょう。これまでの方針が正しかったことは多くの卒業生の活躍で証明されています。これから飛び立つ全ての学生が、これまでの卒業生以上に社会で活躍されることを願っています。



副会長あいさつ

まずは総会、懇親会で お会いしましょう

副会長（高専機械28回卒）

加納 孝 樹



こんにちは、この度、長岡高専同窓会高志会副会長を拝命しました、専機28卒加納孝樹です。長岡工短第一回卒業生と平成最後の高専卒業生をずらり並べた時に、ちょうど

折り返し年度の卒業です。先輩と後輩がほぼ同数いるわけですから、これは何かアクションを起こせとの縁を感じております。何が出来るかまだわかりませんが、副会長としての責務を果たし、長岡高専同窓会高志会の発展に繋げていく所存でございます。宜しく願いいたします。

高志会の活動をおさらいしました。会則では「第3条 本会は会員相互の親睦を図ると共に工業の発展に寄与することを目的とする。」とあります。同窓会誌VOL.19では「高志会は、長岡高専同窓会の発展と会員相互の親睦のために活動しています。主な活動としては、(1)高志会総会の開催(2)同窓会報の発行(3)高志会会員名簿のメンテナンスの3つがあり、毎年1件ずつ、それぞれ3年毎に実施してきました。」と記されております。卒業以来、何も考えずに届いた会報を読み、総会の案内はほったらかし

にしていました。これらの事業活動を常務理事の先生方が執り行ってくださっていたのです。ご多忙の中、大変ありがとうございます。

長岡高専は時代に合わせ変わっています。後輩達はロボコンやDCONで素晴らしい活躍をしています。われらが高志会も、長岡高専卒業生であることに誇りを持った、1万人を超える技術者の集まりです。イノベーションを生むのは人です。顔を合わせるによりイノベーションが興るかもしれません。次回の同窓会総会・懇親会に出席しませんか??

皆さんにお会いできる事を、楽しみにしております。



群馬高専での生活 ～近況報告～

群馬工業高等専門学校 校長
(高専電気10回卒) 山崎 誠

群馬高専に赴任して2年8ヶ月が経ち、前橋での単身生活にも慣れてきました。

群馬高専は長岡高専と同じ一期校・5学科構成ですが、校舎の配置や学校運営には違いがあります。各高専は50年以上の歴史を積み重ねておりますが、群馬高専には古き良き高専の雰囲気少し残っている気がします。長岡高専とほぼ同じ敷地面積ですが、平地のためか広く感じます。また、雪が積もらないので、樹木も多く、背の高いメタセコイヤがあり、春には桜や花見月の木々が花を咲かせます。

群馬高専は専攻科を早く設置し、地域企業との連携や研究活動等でも早い時期に先進的に取り組んできた高専です。ただ、法人化以降は、機構や高専全体の教育改革や国際化の新しい取組では、無理をしない対応をしてきたようです。高専全体の流れに沿った取組も必要で、長岡高専での経験も活かし、国際交流活動やアクティブラーニング等の取組を少しずつ立ち上げています。地道にコツコツという感じです。

外から長岡高専を見ますと、国際交流、起業家育成、地域との連携等、長岡高専の最近の教育研究活動には輝かしいものがあります。全国高専の先進校であると思っています。また、同窓会も運営がしっ

かりしていると感じます。

群馬県には榛名山、草津温泉、伊香保温泉等の観光地もありますが、農業県でもあります。春のイチゴ、夏から秋にかけては榛名果物街道での桃・プラム・梨、榛東村のブドウ、沼田市のリンゴ等、農家の直売所巡りを楽しんでいます。また、畜産も盛んで、トンカツやモツ煮も年中楽しめます。また、麦の国ですので、うどんやパンも美味しい店が多くあります。

長岡高専および同窓会の益々のご発展を祈念し、近況報告とします。



高田孝次先生 「瑞宝中綬章 受章祝賀会」開催報告

発起人代表 総務主事
(高専工業化学15回卒) 鈴木 秋弘

令和元年10月19日(土)、ホテルニューオータニ長岡 二階白鳥の間で「高田孝次先生 瑞宝中綬章 受章祝賀会」が開催されました。高田孝次先生は平成15年4月本校に第八代目校長として就任され八年間の任期を経て、退職されるまで電気工学科を電気電子システム工学科に改組され教育体制を整備されたほか、日本技術者教育認定制度や大学評価・学位授与機構(当時)による認証評価制度の導入を進められ、本校の高等教育機関としての発展充実に努められました。また、新潟県中越地震の際には、強力なリーダーシップを発揮され、甚大な被害を被った本校の早期再建に尽力されました。このようなご功績により「瑞宝中綬章」受章の栄に浴されました。

祝賀会当日には、各方面より総勢80名の方々にご出席いただき、山崎彬様(越後製菓(株)取締役名誉会長)、鎌土重晴様(長岡技術科学大学理事・副学長)、古田島智裕様(同窓会会長)からご祝辞をいただき、当時の懐かしい話で盛り上がりました。また、祝賀会御出席者を含め総勢150名ものの方々から

記念品醸金に御賛同いただき、高田先生ご夫妻に「御醸金芳名簿」とともに贈呈させていただきました。

今回の受章は、ご本人ご家族はもとより、私共関係者にとりましてもご同慶の至りであり、長岡高専と致しましてもうれしい出来事でした。



小さな高専における広い視野を持った技術者育成の取り組み

5年一貫のユニークな技術者教育システムは高専設立当時から高い評価を得てきましたが、産業界の急速なグローバル化に伴い、高専の技術者教育においても国際性の涵養が強く求められるようになってきました。長岡高専は、その能力育成のため、海外の高等教育機関と学術協定を結び、学生の派遣と受入を双方向で行う多様なプログラムを実践しています。初期の派遣プログラムでは、留学生の出身国を中心にマレーシア、タイ、ベトナム、中国、シンガポールなどのアジアの高等教育機関に限定され、研修内容も異文化体験的なものに留まっていた。近年では、交流国がモンゴル、ロシア、フランス、フィンランド、メキシコなどとアジアの外にまで拡大しました。また学術協定校の教員の受け入れも開始し、マレーシアのアドテックマラッカ校、モンゴルの科技大付属高専、モンゴル高専、そして新モンゴル

校長補佐(国際交流担当)

(高専機械16回卒) 中村 奨

高専の教員に対して技術者研修を実施しています。今現在、モンゴル、タイ、メキシコに日本と同じ5年制の高専ができており、長岡高専は、これら海外高専の支援を行っています。長岡高専は、これらプログラムを通して、小さな高専から広い視野を持った技術者の育成に取り組んでいます。



「全国高等専門学校ディープラーニングコンテスト (DCON) 2019」に出場して

2019年4月24日に東京新丸ビルで開催されました「全国高等専門学校ディープラーニングコンテスト2019」(以下DCON(ディーコン))にプレラボチームの電子制御4年のソドーさん、電気3年の星野大海さん、電気4年のノムハラが会場いたしました。DCONとは、高専生の日頃の学習成果を活かした「ものづくりの技術」と「ディープラーニング」を活用した作品によって生み出される「事業性」を競うコンテストです。

全国の高等専門学校生の18チームから最終審査に進んだ8チームが集結し、メンターとともに、「ディープラーニング」を活用し開発した作品の「事業性」を6分間のプレゼンテーションを通じ競った結果、長岡工業高等専門学校 長岡高専プレラボチームが、最優秀賞(JDLA若手奨励賞)を受賞しました。

もともと長岡高専の一年生でも研究室の研究に参加できるプレラボ制度から始まったプレラボチーム、様々な企業の課題に取り組んでいく過程で今回

電気電子システム工学科4年生

BAYARBAT NOMUNBAYASGALANT(ノムハ)

の作品も生まれています。DCONの後から矢野研究室のプレラボメンバーも約20人に増えました。高専にいる間でも、学びながら地域社会に貢献する研究を進めていきます。



第一回 ホームカミングデイを開催しました！

同窓会事務局初めての試みとして、高志祭開催期間中(2017年11月3日～5日)にホームカミングデイを実施いたしました。ホームカミングデイはご卒業されたOB/OGの皆様が校舎を再訪し、クラスメイトとの親睦を深める機会としてご活用していただきたいという願いのもと、企画されたものです。今回が第一回の開催となります。

(高専環境都市3回卒 環境都市工学専攻3回卒)

押木 守

したが、期間中に常設展示企画と学科見学ツアーを開催し、のべ280名にお越しいただきました。お越しいただいた皆様へ厚く御礼申し上げます。同窓会事務局では今後もホームカミングデイ等の企画を実施していく予定ですので暖かく見守って頂ければ幸いです。ホームカミングデイをひきつづきよろしく願いいたします。

平成30年度高志会総会報告

平成30年度同窓会総務

平成30年12月1日(土) ホテルニューオータニ長岡2F柏の間にて、高志会総会を開催しました。お忙しい中、50名の会員にお集まりいただきました。議長には、会長が満場一致で選任され、下記の議事が議決されましたので、ご報告申し上げます。

【議事1】役員選任(会長)について:伊藤会長の本総会でのご勇退に伴い、会長の選任を行いました。会則第8条では、「会長は正会員中から理事会が推選し、総会の承認を得るものとする。」と定めており、これに基づき、理事会から古田島智裕氏を推薦し、賛成多数で承認されました。

【議事2】名簿取扱規約 附則(旧冊子体名簿に関する特例措置)6.(前略)ただし、事務局保管分(在庫分)に関しては有償にて提供する。の削除について:名簿取扱規約の附則(旧冊子体名簿に関する特例措置)6では、「平成22年以前の冊子体名簿は再版しな

い。ただし、事務局保管分(在庫分)に関しては有償にて提供する。」と示されています。事務局保管分の在庫がなくなったため、後半の文章「ただし、事務局保管分(在庫分)に関しては有償にて提供する。」は不要であり、変更することが、賛成多数で承認されました。

議事の他には、役員選任(副会長、加納孝樹氏)、事業、資産内訳、平成30年度役員について報告があり、会議の目的事項は滞りなく執り行われました。また、総会後の懇親会では当時の懐かしい話に花が咲いていっしょに話していました。会場には同窓会から遠征費を支援したロボカップ世界大会の出場ロボットを展示し、その活躍ぶりに話が盛り上がっていました。皆様のご協力に大変感謝申し上げます。今後開催される総会におきましても、皆様お誘い合わせの上、御出席の程よろしく願い申し上げます。

関東信越地区高専同窓会交流会

令和元年度同窓会総務

令和元年10月5日(土)に東京都町田市のサレジオ工業高等専門学校において、関東信越地区高専同窓会交流会が行われました。本交流会は、関東信越地区における各高専同窓会の運営執行部による情報交換会で、長岡高専高志会同窓会からは、会長はじめ総務の2名が参加いたしました。参加校は、長野、茨城、東京、都立荒川、都立品川、サレジオおよび長岡の7高専でした。各校同窓会での活動紹介が行われ、活発な質疑応答が行われました。名簿管理の方法、会費の徴収

方法、総会の実施方法等、各高専同窓会での独自の取り組みが紹介され、同窓会運営において参考になる情報交換を行うことができました。令和二年度は、長岡高専が主幹校となり、長岡市で実施する予定です。



部活動紹介

長岡高専ロボティクス部の近況

ロボティクス部顧問 井山 徹 郎

ご存知の方も多いと思いますが、長岡高専のロボティクス部はNHK高専ロボコンでの優勝を目指し、1997年に創立されたクラブです。設立当初はNHK高専ロボコン専門に活動をしてまいりましたが、ロボット製作の技術力の向上を目的として、近年は複数のロボット競技会にも継続参加しております。その中でも、ロボカップJr.サッカー競技部門では2016年から2018年の3年連続で世界大会への出場を達成し、2017年は世界大会優勝、2018年に準優勝しております。また、2018年に初出場した廃炉創造ロボコンでは文部科学大臣賞（最優秀賞）を獲得するなど多方面においての活躍が見られるようになりました。これらの競技会で身につけた技術が蓄積され、ロボティクス部の活動目標であるNHK高専ロボコンにおいても、2017年度に30年の大会史上で初めての1校からの2チーム出場を果たしました。

ロボティクス部の活動の様子は公式HP、公式twitterで定期的に発信しておりますので、ぜひ“長岡高専ロボティクス部”で検索して、私達の活躍をご覧ください。



長岡高専水泳部、ここ最近の活躍

水泳部顧問 大湊 佳 宏

本校水泳部は、年々活動の幅を広げております。競技力だけにとどまらず、人としての成長を育むための活動を顧問3名と共に行っております。部員は20名程度で、ここ3年の競技結果は、〈関東信越地区高専大会〉東京大会(2017)：総合2位、長岡大会(2018)：総合優勝、長野大会(2019)：総合優勝。〈全国高専大会〉栃木大会(2017)：総合5位(8種目決勝出場)、長崎大会(2018)：総合8位(9種目決勝進出)、広島大会(2019)：総合5位(10種目決勝進出)。さらには高校の大会でも今年度は北信越高校総体にリレー競技を含め6種目が進出しました。スイミングに通っている部員は一人もおらず、高専での活動のみで結果を残しているのが特徴です。2017-19年には、飛込競技の学生が地元長岡市のダイビングクラブで練習に励み、インターハイ・国体で入賞を果たしたことは、新聞の報道でもご覧になられた

かと思われます。

本校水泳部員は、海外で溺死をする子どもたちの数を減らすための活動（Uitemateプロジェクト）に参加しております。水難学会とのコラボ企画で、水難事故に遭遇した際に、水の上で背浮きをした状態で救助を待つ技術（Uitemate）を、ASEAN諸国にて普及する活動です。昨年度は、4年生を中心に5名の水泳部員がインドネシアを訪れました。



2018Uitemate指導員養成講習会（インドネシア）



2019全国高専大会（ひろしんBW広島）

体育大会入賞者

平成28年度 全国高専体育大会

◎バドミントン			
男子ダブルス	3位	大和・大月組	
◎水泳			
男子400mメドレーリレー	4位		
男子400mフリーリレー	6位		
男子200m個人メドレー	4位	佐藤	瑠唯
男子200m自由形	6位	伊藤	優樹
男子800m自由形	8位	山賀	大暉
	6位	山際	大雅
女子50mバタフライ	5位	進藤	友紀
◎陸上競技			
男子110mハードル	5位	田中	大地
◎柔道			
男子団体	3位		

(岩岸・涌井・渡邊・渋谷・武石・三五・大島)

平成28年度 関東信越地区高専体育大会

◎卓球			
男子団体	2位		
男子ダブルス	2位	澤田・岩村組	
◎陸上競技			
男子200m	4位	(繰上げで出場権獲得)	
		宮	翼
男子110mハードル	優勝	田中	大地
男子走高跳	2位	西脇	優作
男子砲丸投	2位	高島	魁人
女子100m	2位	森	菜々子
女子200m	2位	森	菜々子
女子800m	2位	岡崎	恵子
女子3000m	4位	(標準記録突破で出場権獲得)	
		岡崎	恵子
	5位	(標準記録突破で出場権獲得)	
		恩田詩緒梨	
◎バレーボール			
男子	2位		
◎ソフトテニス			
女子ダブルス	優勝	稲田・土田組	
◎バドミントン			
男子ダブルス	優勝	大和・大月組	
女子ダブルス	2位	岸・松井組	
◎柔道			
男子団体	優勝		
男子個人戦60kg級	優勝	佐藤	峻登
	2位	阿部	圭太
男子個人戦73kg級	優勝	大島	亮哉
	2位	三五	彬喜
男子個人戦90kg級	優勝	涌井	孝太郎
男子個人戦90kg超級	優勝	岩岸	瑞樹
◎水泳			
団体	総合優勝		
男子100m自由形	3位	佐藤	瑠唯

男子200m自由形	2位	伊藤	優樹
男子400m自由形	2位	山賀	大暉
	3位	山際	大雅
男子800m自由形	2位	山賀	大暉
	3位	山際	大雅
男子100m背泳ぎ	2位	金子	泰士
男子100m平泳ぎ	3位	西木	航
男子200m個人メドレー	優勝	佐藤	瑠唯
男子400mフリーリレー	優勝		
男子400mメドレーリレー	2位		
女子50mバタフライ	2位	進藤	友紀
◎バスケットボール			
男子	優勝		
◎サッカー			
	優勝		

平成29年度 全国高専体育大会

◎硬式野球			
男子	3位		
◎水泳			
男子400mフリーリレー	3位		
男子400mメドレーリレー	8位		
男子100m自由形	3位	伊藤	優樹
男子200m自由形	優勝	伊藤	優樹
男子400m自由形	5位	山際	大雅
男子800m自由形	3位	山際	大雅
男子200m個人メドレー	3位	佐藤	瑠唯
女子50mバタフライ	7位	進藤	友紀
◎柔道			
男子団体	3位		
女子個人戦63kg級	3位	飯野	杏

平成29年度 関東信越地区高専体育大会

◎野球			
	2位		
◎ソフトテニス			
男子ダブルス	3位	高橋・串田組	
◎ハンドボール			
	2位		
◎柔道			
男子団体	優勝		
男子個人戦60kg級	優勝	佐藤	峻登
	2位	竹内	宏
	3位	関	凌大
	3位	村山	滉太
男子個人戦73kg級	優勝	大島	亮哉
	3位	阿部	圭太
男子個人戦90kg級	優勝	三五	彬喜
	2位	武樋	力
男子個人戦90kg超級	優勝	佐藤	大海
女子個人戦48kg級	優勝	市野	梨保子
女子個人戦63kg級	優勝	飯野	杏
◎バドミントン			
男子団体	2位		
女子団体	順位なし	(開催校枠)	

男子ダブルス	優勝	大和・大月組
男子シングルス	優勝	大和 将真
	2位	大月 一摩
女子ダブルス	2回戦敗退	松井・藤田組
女子シングルス	2回戦敗退	松井千佳子
◎陸上競技		
男子110mハードル	2位	山本 温人
男子走高跳	2位	西脇 優作
女子100m	2位	森 菜々子
女子走幅跳	2位	森 菜々子
◎水泳		
男子100m自由形	優勝	伊藤 優樹
男子200m自由形	優勝	伊藤 優樹
男子400m自由形	2位	山際 大雅
男子800m自由形	優勝	山際 大雅
男子100m背泳ぎ	2位	西村 護
男子200m背泳ぎ	2位	金子 泰士
男子200m個人メドレー	2位	佐藤 瑠唯
男子400mフリーリレー	2位	
男子400mメドレーリレー	2位	
女子100m自由形	2位	進藤 友紀
女子50mバタフライ	2位	進藤 友紀
◎バスケットボール		
男子	優勝	

女子200m個人メドレー	優勝	進藤 友紀
◎陸上競技		
男子110mハードル	2位	山本 温人
男子400mハードル	2位	山本 温人
男子4×400mリレー	3位	
女子100m	3位	森 菜々子
◎バスケットボール		
男子	優勝	
◎柔道		
男子団体	2位	
男子個人戦60kg級	2位	村山 滉太
男子個人戦73kg級	2位	阿部 圭太
男子個人戦90kg超級	優勝	佐藤 大海

平成30年度 全国高専体育大会

◎陸上競技		
男子110mハードル	2位	山本 温人
◎水泳		
男子400mフリーリレー	2位	

平成30年度 関東信越地区高専体育大会

◎バドミントン		
男子団体	2位	
男子ダブルス	優勝	大和・大月組 (特別表彰授賞)
男子シングルス	2位	大月 一摩
◎水泳		
団体	優勝	
男子100m自由形	優勝	伊藤 優樹
男子200m自由形	優勝	伊藤 優樹
	3位	樋口 雄海
男子400m自由形	2位	秋山 義紀
男子800m自由形	2位	秋山 義紀
男子100m背泳ぎ	2位	神林 昂
男子100m平泳ぎ	3位	谷口 諒
男子200m平泳ぎ	3位	高橋 匠斗
男子100mバタフライ	2位	込山 拓実
男子200mバタフライ	優勝	込山 拓実
男子400mフリーリレー	2位	
男子400mメドレーリレー	2位	
女子100mバタフライ	2位	進藤 友紀

古希での母校訪問

私たち専化4回同級生は、1996年に47歳で母校を訪問以来、毎年各地で同級会を開催しており、なかでも50歳、還暦には母校を訪問して恩師の先生方にお会いしてきました。そして古希を迎えたことから、9月末に再訪し、事前をお願いしていた同窓会の島宗先生に校内をご案内いただきました。食堂の場所が変わったとか、裏山でスキー授業があったとか構内の変化を楽しみ、学生が1,000人以上のこと、ロボコンの2017世界大会でチャンピオンになったこと、太陽電池で当時世界記録を樹立したことなど説明して頂きました。学生も教室で試験中、図書室は充実しており過ごしやすそうでした。島宗さん、図書室の司書さん、お世話になりました。

恩師の岩田實先生にわざわざ高専までおいでいた

(高専工業化学4回卒) 本 田 秀 幸

だき、近況をお聞きすると共に記念に写真を撮りました。皆、好い年になりました。

卒業30数人中、毎年10~15人ほどが集まってワイワイしていますが、今回は17名が参加。塚山の宿に到着早々ビールがどんどん空き、料理も美味しく気持ちよく過ごせました。長谷川邸、朝日酒造や花火の片貝を巡り、来年の再会を約して解散としました。



教職員の異動 (平成29年3月~令和元年11月1日)

【採用、再雇用、転入】

平成29年4月1日付け
 竹茂 求 長岡工業高等専門学校校長……………昇任(転入)
 田村 文裕 電気電子システム工学科助教……………採用
 宮田 真理 物質工学科助教……………採用
 陽田 修 環境都市工学科特命教授……………採用
 岩井 裕 物質工学科嘱託教授……………再雇用
 大澤 和美 事務部長……………採用(転入)
 澤野 力貴 学生課教務入試係……………採用
 片桐 正幸 総務課施設係 事務支援職員 ※フルタイム再雇用 再雇用
 伊佐 実 技術支援職員 ※短時間再雇用……………再雇用

平成29年4月25日付け
 大嶋 悦子 学生課教務入試係 育児休業等代替 任期付職員 平成30年3月31日まで(予定) 採用

平成29年5月1日付け
 酒井 健志 教育研究技術支援センター 育児休業等代替 任期付職員 平成30年3月31日まで(予定) 採用

平成29年6月1日付け
 村田真以子 学生課寮務係事務補佐員……………採用

平成29年7月18日付け
 白井 一美 総務課地域連携係事務補佐員……………採用

平成30年4月1日付け
 平井 誠 電気電子システム工学科准教授……………配置換
 杉原 幸信 電子制御工学科助教……………採用
 陽田 修 環境都市工学科准教授……………採用
 阿部 高弘 一般教育科嘱託教授……………再雇用
 吉野 正信 機械工学科特任教授……………再雇用
 片桐 裕則 電気電子システム工学科特任教授……………再雇用
 太刀川信一 電子制御工学科嘱託教授……………再雇用
 大崎 博行 総務課長……………採用(転入)
 雲崎 雄次 学生課長……………採用(転入)
 石田 祐介 総務課総務係……………採用
 鈴木 凡恵 学生課教務入試係……………育児復帰

片桐 正幸 総務課施設係 事務支援職員 ※フルタイム再雇用 再雇用
 伊佐 実 技術支援職員 ※短時間再雇用……………再雇用
 佐野 緑 総務課企画室事務補佐員……………採用
 樋口恵美子 総務課調達係事務補佐員……………採用
 安達 早苗 学生課寮務係事務補佐員……………採用

平成30年5月1日付け
 大嶋 悦子 学生課寮務係事務補佐員……………採用

平成30年5月7日付け
 江口 里枝 総務課人事係事務補佐員……………育児復帰

平成30年6月1日付け
 浅野佐紀子 環境都市工学科技術補佐員……………採用

平成30年10月1日付け
 兵藤 桃香 一般教育科特命助教……………採用

平成30年10月9日付け
 武樋 孝幸 一般教育科助教 採用期間: H30.10.9~H31.9.23
 (富樫瑠美 産休・育休代替採用)……………採用

平成30年12月1日付け
 中嶋美津子 国際交流推進センター国際交流コーディネーター
 採用期間: H30.12.1~H31.3.31(石坂育子 産休・育休代替採用) 採用

平成31年1月1日付け
 桐生ゆう子 学生課教務入試係事務補佐員……………採用
 金井 綾香 物質工学科技術補佐員……………採用

平成31年2月1日付け
 鈴木 義之 専攻科特命助教……………採用

平成31年2月4日付け
 ナミタ マハルジャン 一般教育科特命助教……………採用

平成31年3月1日付け	和久井直樹	電気電子システム工学科助教	採用
平成31年3月15日付け	鯉江 秀行	一般教育科助教 採用期間: H31.3.15～H32.3.31 (中山雅友美 産休・育休代替採用)	採用
平成30年12月17日付け	土田香代子	電子制御工学科事務補佐員	採用
平成31年4月1日付け	吉野 正信	機械工学科嘱託教授	再雇用
	片桐 裕則	電気電子システム工学科嘱託教授	再雇用
	太刀川信一	電子制御工学科嘱託教授	再雇用
	榎並 岳史	総務課企画係長	採用
	荒木 勇祐	総務課財務係	採用(新採用)
	片桐 正幸	総務課施設係 事務支援職員 ※フルタイム再雇用	再雇用
	渡邊美奈子	技術職員	第二グループ長 育休復帰
	酒井 健志	電気電子システム工学科技術補佐員	採用
令和元年6月1日付け	吉野 正信	機構本部特命教授(併)国際参事(併) 長岡工業高等専門学校嘱託教授	採用
	小野 幹夫	国際交流推進センター国際交流コーディネーター	採用
	大川いずみ	学生課図書係事務補佐員	採用
	和田 政輝	教育研究技術支援センター 第二グループ採用(新採用)	
令和元年6月6日付け	外川 一仁	電子制御工学科准教授	復職
令和元年7月1日付け	小田 康晴	総務課施設係事務補佐員	採用
令和元年9月1日付け	本間 隆	特命教授(地域創生教育研究推進室コーディネーター)	採用
令和元年9月24日付け	富樫 瑠美	一般教育科講師	育休復帰
令和元年10月1日付け	小見 優樹	学生課教務入試係	採用(新採用)
	塚崎佳菜枝	学生課寮務係事務補佐員	採用
令和元年11月1日付け	笠井万里加	総務課事務補佐員	採用
	浅野佐紀子	環境都市工学科技術補佐員	採用

【退職、転出、産休】

平成29年3月31日付け	渡邊 和忠	長岡工業高等専門学校校長	定年退職
	恒岡まさき	電気電子システム工学科教授	定年退職
	田口裕二郎	電気電子システム工学科教授	定年退職
	佐藤 公俊	一般教育科嘱託教授	雇用期間満了退職
	涌田 和芳	一般教育科嘱託教授	雇用期間満了退職
	岩井 裕	物質工学科嘱託教授	雇用期間満了退職
	草間 忠明	長岡工業高等専門学校事務部長	定年退職
	湯本 厚男	長岡工業高等専門学校総務課課長補佐(庶務担当) (併)総務課地域連携係長	退職(転出)
	片桐 正幸	総務課施設係 事務支援職員 ※フルタイム再雇用	雇用期間満了退職
	高橋 恭一	技術支援職員 ※短時間再雇用	雇用期間満了退職
	伊佐 実	技術支援職員 ※短時間再雇用	雇用期間満了退職
平成29年4月1日付け	山崎 誠	群馬工業高等専門学校校長	昇任(転出)

平成29年5月16日付け	渡邊美奈子	教育研究技術支援センター	休業(育児)休業期間:平成29年5月16日～平成31年3月31日まで(予定)
平成29年5月20日付け	江口 里枝	総務課人事係事務補佐員	休業(育児)休業期間:平成29年5月20日～平成30年1月31日まで(予定)
平成29年7月31日付け	荻野美由紀	総務課地域連携係事務補佐員	辞職
平成29年9月30日付け	和久井 駿	総務課財務係	辞職(転出)
	鈴木 善晴	総務課調達係	辞職(転出)
平成30年3月31日付け	阿部 高弘	一般教育科教授	定年退職
	吉野 正信	機械工学科教授	定年退職
	片桐 裕則	電気電子システム工学科教授	定年退職
	太刀川信一	電子制御工学科教授	定年退職
	岩井 裕	物質工学科嘱託教授	雇用期間満了退職
	村山 敏規	総務課課長	退職(転出)
	塚野 國和	総務課課長補佐(総務担当)(併)総務課地域連携係長	退職(転出)
	大嶋 悦子	学生課教務入試係	雇用期間満了退職
	片桐 正幸	総務課施設係 事務支援職員 ※フルタイム再雇用	雇用期間満了退職
	伊佐 実	技術支援職員 ※短時間再雇用	雇用期間満了退職
	日山 良一	総務課財務係事務補佐員	雇用期間満了退職
	金子美都里	学生課寮務係事務補佐員	雇用期間満了退職
平成30年4月1日付け	米内 治	石川工業高等専門学校学生課長	配置換(転出)
平成30年4月30日付け	村田真以子	学生課寮務係事務補佐員	雇用期間満了退職
平成30年9月30日付け	阿部 高弘	一般教育科教授嘱託教授	雇用期間満了退職
平成31年3月31日付け	杉原 幸信	電子制御工学科助教	雇用期間満了退職
	床井 良徳	電気電子システム工学科准教授	配置換
	山岸 真幸	機械工学科准教授	出向
	吉野 忠光	総務課人事係長	辞職(転出)
	阿尻 大	学生課教務入試係	辞職(転出)
	藤田 信行	技術専門職員	退職
	酒井 健志	技術職員	雇用期間満了退職
	伊佐 実	技術支援職員 ※短時間再雇用	雇用期間満了退職
令和元年5月31日付け	吉野 正信	機械工学科嘱託教授	辞職
	中嶋美津子	国際交流推進センター国際交流コーディネーター	辞職
	進藤 朋子	学生課図書係事務補佐員	辞職
令和元年8月1日付け	櫻井 藍子	本部事務局 学務課調査係	配置換
令和元年9月23日付け	武樋 孝幸	一般教育科助教	雇用期間満了退職
令和元年9月30日付け	吉川 武範	学生課教務入試係	辞職(転出)
	安藝 智浩	学生課学生係	辞職(転出)
	安達 早苗	学生課寮務係事務補佐員	辞職
令和元年10月31日付け	白井 一美	総務課事務補佐員	辞職

学科生及び専攻科生の進路状況

平成28年度 平成29年3月現在

■学 科

学 科	区 分	進 路					求人状況			
		卒業生数	進学者数	就職者数		その他	求人数	求人倍率	県内 求人数	
				県 内	県 外					
機 械 工 学 科		46	26	19	7	12	1	490	25.8	48
電 気 電 子 シ ス テ ム 工 学 科		40	18	21	7	14	1	526	25.0	31
電 子 制 御 工 学 科		39	35	4	0	4	0	403	100.8	27
物 質 工 学 科		34	25	9	3	6	0	206	22.9	27
環 境 都 市 工 学 科		39	24	15	9	6	0	441	29.4	48
計		198	128	68	26	42	2	2,066	30.4	181

※県内求人数内数

■専 攻 科

専 攻	区 分	進 路					求人状況			
		修了者数	進学者数	就職者数		その他	求人数	求人倍率	県内 求人数	
				県 内	県 外					
電 子 機 械 シ ス テ ム 工 学 専 攻		13	2	11	5	6	0	1,202	109.3	94
物 質 工 学 専 攻		7	3	4	0	4	0	191	47.8	22
環 境 都 市 工 学 専 攻		8	2	6	3	3	0	441	73.5	48
計		28	7	21	8	13	0	1,834	87.3	164

※求人数は学科分も含む

平成29年度 平成30年3月現在

■学 科

学 科	区 分	進 路					求人状況			
		卒業生数	進学者数	就職者数		その他	求人数	求人倍率	県内 求人数	
				県 内	県 外					
機 械 工 学 科		34	22	10	5	5	2	595	59.5	72
電 気 電 子 シ ス テ ム 工 学 科		27	16	9	5	4	2	580	64.4	43
電 子 制 御 工 学 科		38	31	6	5	1	1	420	70.0	39
物 質 工 学 科		36	27	9	3	6	0	173	19.2	11
環 境 都 市 工 学 科		39	26	13	6	7	0	318	24.5	40
計		174	122	47	24	23	5	2,086	44.4	205

※県内求人数内数

■専 攻 科

専 攻	区 分	進 路					求人状況			
		修了者数	進学者数	就職者数		その他	求人数	求人倍率	県内 求人数	
				県 内	県 外					
電 子 機 械 シ ス テ ム 工 学 専 攻		18	3	15	8	7	0	1,356	90.4	127
物 質 工 学 専 攻		6	3 (*4)	3	1	2	0	163	54.3	9
環 境 都 市 工 学 専 攻		10	4	6	3	3	0	318	53.0	40
計		34	10 (*11)	24	12	12	0	1,837	76.5	176

(*就職先派遣で進学含む)

※求人数は学科分も含む

平成30年度 平成31年3月現在

■学 科

学 科	区 分	進 路					求人状況			
		卒業生数	進学者数	就職者数		研究生等	求人数	求人倍率	県内 求人数	
				県 内	県 外					
機 械 工 学 科		45	21	22	9	13	2	612	27.8	115
電 気 電 子 シ ス テ ム 工 学 科		42	23	18	8	10	1	576	32.0	38
電 子 制 御 工 学 科		39	28	11	6	5	0	438	39.8	46
物 質 工 学 科		47	29	18	4	14	0	260	14.4	18
環 境 都 市 工 学 科		35	24	11	6	5	0	269	24.5	31
計		208	125	80	33	47	3	2,155	26.9	248

※県内求人数内数

■専 攻 科

専 攻	区 分	進 路					求人状況			
		修了者数	進学者数	就職者数		研究生等	求人数	求人倍率	県内 求人数	
				県 内	県 外					
電 子 機 械 シ ス テ ム 工 学 専 攻		26	11	15	3	12	0	1,484	98.9	189
物 質 工 学 専 攻		10	2	7	0	7	1	209	29.9	20
環 境 都 市 工 学 専 攻		8	2	6	4	2	0	269	44.8	31
計		44	15	28	7	21	1	1,962	70.1	240

※求人数は学科分も含む

同窓会長賞受賞者紹介

■平成28年度同窓会長賞 受賞者

	氏名	学科	所属クラブ等	成績等
1	田原 海	物質工学科	化学部	H24～H26 新潟県化学インターハイ出場メンバー
2	伊佐 猛	物質工学科		H24～H26 最優秀高等学校賞（日本化学会関東支部長賞）受賞ほか
3	藤澤 郁也	電子制御工学科	ロボティクス部	Robo Cup 2016 Junior Soccer Open 部門
4	高松 哲哉	電子制御工学科		H28 全国大会（ジャパンオープン）3位
5	高橋 知也	機械工学科		H28 世界大会（ライプツィヒ・ドイツ） Junior Soccer Open：7位 Junior Soccer Open Super Team：優勝
6	涌井孝太郎	機械工学科	柔道部	H24～H25 全国高専体育大会団体戦出場メンバー
7	渋谷 諒太	機械工学科		H26～H28 全国高専体育大会団体戦3位
8	岩岸 瑞樹	電気電子システム工学科		H24～H25 全国高専体育大会団体戦出場メンバー
9	武石 敬也	環境都市工学科		H26、H28 全国高専体育大会団体戦3位
10	渡邊 史哉	電子制御工学科		H25 全国高専体育大会団体戦出場メンバー
				H27、H28 全国高専体育大会団体戦3位
11	田中 大地	機械工学科	陸上競技部	H26 全国高専体育大会110mH（ハードル）出場
				H27 全国高専体育大会110mH 7位 H28 全国高専体育大会100mH 5位
12	大倉真一希	電子制御工学科	水泳部	H24 全国高専体育大会800m自由形7位、400m自由形10位
				H25 全国高専体育大会400m自由形7位、800m自由形9位
				H26 全国高専体育大会400m自由形4位、800m自由形4位、400mフリーリレー11位
				H27 全国高専体育大会200m自由形7位、400mメドレーリレー8位
				H24 全国高専体育大会50m背泳ぎ出場
13	箭内 天依	電子制御工学科		H25 全国高専体育大会200mフリーリレー3位
14	西木 航	物質工学科		H25 全国高専体育大会100m平泳ぎ7位
				H26 全国高専体育大会100m平泳ぎ出場、200m平泳ぎ出場、400mメドレーリレー10位
				H27 全国高専体育大会100m平泳ぎ出場、400mメドレーリレー8位
				H28 全国高専体育大会100m平泳ぎ出場
15	石丸 美穂	環境都市工学科		H24 全国高専体育大会100m平泳ぎ出場
				H25 全国高専体育大会100m平泳ぎ出場、200mフリーリレー3位
16	岸 えみり	環境都市工学科	バドミントン部	H24、26～28 全国高専体育大会ダブルス出場
				H25 全国高専体育大会ダブルス3位

■平成29年度同窓会長賞 受賞者

	氏名	学科	所属クラブ等	成績等
1	高島 魁人	電子制御工学科	陸上競技部	H25～28 全国高専体育大会出場
2	岡崎 恵子	環境都市工学科		H26～28 全国高専体育大会出場
3	羽取 俊貴	機械工学科	バスケットボール部	H28～29 全国高専体育大会出場
4	木村 恒介	機械工学科		
5	齋藤 祐功	機械工学科		
6	入沢 和	電子制御工学科		
7	遠田 利矢	電子制御工学科	バレーボール部	H26～28 全国高専体育大会出場
8	丸山 将大	環境都市工学科		
9	橋本 啓太	環境都市工学科		
10	樋浦 一樹	物質工学科		
11	三五 彬喜	環境都市工学科	柔道部	H26 全国高専体育大会団体戦3位
				H27～28 全国高専体育大会団体戦3位 個人73kg級出場
12	竹内 宏	機械工学科		H29 全国高専体育大会団体戦3位 個人90kg級出場
13	大島 亮哉	電気電子システム工学科	水泳部	H27～28 全国高専体育大会団体戦3位
14	武田 雅平	物質工学科		H27～29 全国高専体育大会団体戦3位 個人73kg級出場
15	井嶋 稜之	機械工学科		H25～29 全国高専体育大会出場
16	八木 達椰	電気電子システム工学科		H26～29 全国高専体育大会出場
17	新野 祥平	環境都市工学科		H26～29 全国高専体育大会出場
18	中川 瑞輝	電気電子システム工学科	硬式野球部	H29 全国高専体育大会3位
19	神村 満純	物質工学科		
20	中村 彪雅	物質工学科		
21	鈴木 健太	環境都市工学科		
22	片桐 雛子	物質工学科		

	氏名	学科	所属クラブ等	成績等
23	高橋 昌己	機械工学科	ロボティクス部	【ロボカップ ジャパンオープン2017】 サッカーオープンリーグ優勝
24	樋口 翔太	電子制御工学科		
25	安原 雅貴	電気電子システム工学科	ロボティクス部 ブレラボ	【Robo Cup 2017 Nagoya】 Junior Soccer Open部門 Junior Soccer Open Individual: World champion Junior Soccer Open SuperTeam: World champion 【Robo Cup Asia-Pacific2017】 SuperTeam Champion Best Technical Innovation
27	青木 大知	電気電子システム工学科		【第28回全国高等専門学校プログラミングコンテスト (H29)】 チーム「Tanboo-水田監視システム-」
28	小林 毅範	電気電子システム工学科	ブレラボ	自由部門特別賞受賞
29	藤田 啓吾	電気電子システム工学科		東芝デジタルソリューション企業賞
30	若山 明裕	電気電子システム工学科		N I C T賞
31	鈴木 広大	機械工学科	模型同好会	2013~2015 全国高等学校鉄道模型コンテスト出場
32	矢部 祐介	機械工学科		2014 第6回全国高等学校鉄道模型コンテスト モジュール部門審査員特別賞
33	八木 健太	機械工学科	スノーボード	2018 全日本スノーボード技術選手権大会 6位 2018 全日本学生スノーボード選手権大会 デュアルスラローム部門優勝 ジャイアントスラローム部門準優勝

■平成30年度同窓会長賞 受賞者

	氏名	学科	所属クラブ等	成績等
1	新野 謙	電気電子システム工学科		H28~30 全国高専体育大会出場
2	藤島 睦	電気電子システム工学科	バスケット ボール部	H27 東日本高専バスケットボール大会優勝
3	渡邊 守	電気電子システム工学科		H28 東日本高専バスケットボール大会準優勝
4	佐藤 大河	物質工学科		H29 東日本高専バスケットボール大会優勝
5	佐藤 大海	電子制御工学科	柔道部	H29 全国高専体育大会団体 3位 個人90kg超級出場 H30 全国高専体育大会団体出場 個人90kg超級出場
6	大野 渉	機械工学科		
7	田口 康介	機械工学科		
8	井上 駿	電気電子システム工学科	硬式野球部	H29 全国高専体育大会第3位
9	児玉 夏樹	物質工学科		
10	太田 公輔	環境都市工学科		
11	滝澤 一輝	環境都市工学科		
12	高野 創	電子制御工学科	ロボティクス部	【ロボカップ ジャパンオープン2017 (全国大会)】 サッカーオープンリーグ優勝 【Robo Cup 2017 Nagoya (世界大会)】 Junior Soccer Open 部門 ・ Junior Soccer Open Individual : World champion ・ Junior Soccer Open SuperTeam : World champion 【RoboCup Asia-Pacific 2017 (世界大会)】 ・ SuperTeam Champion : 優勝 ・ Best Technical Innovation受賞
13	小林 勇人	機械工学科		【全国高専ロボットコンテスト】
14	柳 翼	機械工学科		H29 全国大会 アイディア倒れ賞
15	五十嵐 勇人	電子制御工学科		【第3回廃炉創造ロボコン (2018)】
16	奈良 貴明	電子制御工学科		・最優秀賞 (文部科学大臣賞)
17	吉沢 舞凜	物質工学科	ブレラボ	【学会誌掲載及びブレラボ制度普及への貢献】 吉沢舞凜、稲生穂乃香 (指導教職員: 赤澤真一、鈴木秋弘、星井進介、高松貴子、村上祐貴、上村健二): 越後香素杉のブランド化~定量的な評価法の開発~, 化学と生物, 55, 11, 783-785 (2017) (日本農芸化学会誌「化学と生物」11月号掲載)
18	稲生穂乃香	物質工学科		
19	佐藤 瑠唯	機械工学科		H26 全国高専体育大会出場 H27~28 全国高専体育大会入賞 H29 全国高専体育大会 3位 H30 全国高専体育大会 2位
20	西村 護	電子制御工学科		H27~29 全国高専体育大会入賞
21	山賀 大暉	電子制御工学科	水泳部	H26 全国高専体育大会入賞 H27 全国高専体育大会 3位 H28~29 全国高専体育大会入賞 H30 全国高専体育大会 2位
22	鎌田 大輝	物質工学科		H26 全国高専体育大会出場 H27~29 全国高専体育大会入賞
23	金子 泰士	環境都市工学科		H26 全国高専体育大会出場 H27~28 全国高専体育大会入賞 H29 全国高専体育大会 3位 H30 全国高専体育大会 2位
24	大和 将真	機械工学科	バドミントン部	H28 全国高専体育大会ダブルス 3位

収支報告

■■■平成28年度■■■

収入の部

(単位：円)

摘要	決算	備考
繰越金	3,323,504	
会費	3,150,000	¥15,000×210名
利息	62	預金利息
名簿代金	0	
寄付金	0	
雑収入	0	
収入合計	6,473,566	

支出の部

(単位：円)

摘要	決算	備考
会報発行費	1,127,097	第19回会報発行費(7,800部発行)
名簿メンテナンス料	75,600	同窓会名簿メンテナンス年間契約料
事務費	6,336	振込手数料、ラベル用紙、封筒、のし袋、残高証明発行手数料
旅費・日当	108,000	理事総会、常任理事会、OB見学会日当
会議費	5,000	常任理事会
卒業証書ファイル	248,016	卒業証書ファイル(平成27年度卒業生：208名+36名)
通信費	18,742	現金書留(会費返還、餞別)、切手
支部結成補助費	0	
支部補助費	0	
人件費	100,000	役員手当
同窓会長賞	77,000	記念品(平成27年度：11名)
学校補助費	350,000	部活動遠征費の支援
基金積立	2,000,000	北越銀行定期預金へ
終身会員費返還	310,000	¥10,000×31名
予備費	331,600	香典、餞別、事務へのお礼、ロボカップジュニア世界大会の支援
支出合計	4,757,391	
繰越金	1,716,175	
累計	6,473,566	

■■■平成29年度■■■

収入の部

(単位：円)

摘要	決算	備考
繰越金	1,716,175	
会費	3,195,000	¥15,000×213名
利息	23	預金利息
名簿代金	0	
寄付金	0	
雑収入	10,000	終身会員費返還住所不定1名分
収入合計	4,921,198	

支出の部

(単位：円)

摘要	決算	備考
会員案内費	1,497,963	調査ハガキ一式
名簿メンテナンス料	102,600	同窓会名簿メンテナンス年間契約料
事務費	9,742	振込手数料、ラベル用紙、封筒、のし袋、残高証明発行手数料
旅費・日当	153,500	理事総会、常任理事会、OB見学会日当
会議費	15,000	常任理事会
卒業証書ファイル	213,153	卒業証書ファイル(平成28年度卒業生：199名+28名)
通信費	20,873	現金書留(会費返還、餞別)、切手
支部結成補助費	0	
支部補助費	0	
人件費	100,000	役員手当
同窓会長賞	112,000	記念品(平成28年度：11名)
学校補助費	365,000	部活動遠征費の支援(ロボカップジュニア世界大会の支援、ロボコン全国大会)
終身会員費返還	310,000	¥10,000×31名
予備費	258,825	香典、餞別、事務へのお礼、ホームカミングデイ実施経費
支出合計	3,158,656	
繰越金	1,762,542	
累計	4,921,198	

■■■平成30年度■■■

収入の部

(単位：円)

摘要	決算	備考
繰越金	1,762,542	
会費	3,120,000	¥15,000×208名
利息	23	預金利息
名簿代金	0	
寄付金	0	
雑収入	514	郵便振替口座残高証明発行手数料(学校事務用)
収入合計	4,883,079	

支出の部

(単位：円)

摘要	決算	備考
総会補助費	1,073,798	調査ハガキ一式
名簿メンテナンス料	259,200	同窓会名簿メンテナンス年間契約料
事務費	5,804	振込手数料、ラベル用紙、封筒、のし袋、残高証明発行手数料
旅費・日当	170,500	理事総会、常任理事会、OB見学会日当
会議費	21,000	常任理事会
卒業証書ファイル	340,200	卒業証書ファイル(平成28年度卒業生：199名+28名)
通信費	13,014	現金書留(会費返還、餞別)、切手
支部結成補助費	0	
支部補助費	0	
同窓会活動支援費	106,272	補正予算(悠久会同窓会活動に係る支援費)
同窓会活動通信費支援費	208,253	補正予算(悠久会同窓会活動に係る通信費)
人件費	130,000	役員手当
同窓会長賞	292,004	記念品(平成29年度：31名)
学校補助費	273,000	課外活動支援(ロボカップジュニア世界大会支援、課外活動報告会記念品)
終身会員費返還	190,000	平成29年度退学者19名
予備費	45,000	補正予算(香典、餞別、事務へのお礼等)
支出合計	3,128,045	
繰越金	1,755,034	
累計	4,883,079	

新常任理事あいさつ

(高専土木17回卒) 環境都市工学科

陽田 修



平成30年4月より環境都市工学科准教授として勤務しております。また、同年より常任理事を仰せつかりました。土木工学科を平成元年に卒業した後、28年間、総合建設会社において、土木構造物の施工管理、点検・調査・診断、補修・補強に関する業務、社内の技術管理に関する業務を経験してきました。現在は、専門科目の他に、システムデザイン・イノベーションセンター長を仰せつかり、JSCOOPを基本ツールとしたシステムデザイン教育を担当しております。これは地域と連携した教育活動であり、本校の卒業生を中心とした地域企業の支援を受け実施されています。このような教育活動には、同窓会の皆様のご支援が不可欠であります。母校長岡高専へ皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

(高専電子制御17回卒) 電子制御工学科

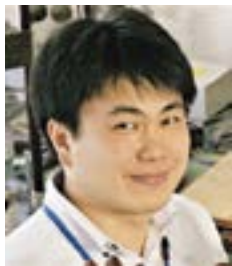
酒井 一樹



平成22年度に電子制御工学科を卒業し、いつか母校で教鞭を執ることを目標に学問と教育の土台作りに勤しみ、多くの縁に恵まれて平成28年度より同学科に助教として戻ってまいりました酒井一樹と申します。本会報でもいくつか紹介されておりますように長岡高専では社会の変化に対応すべくここ数年で様々な取り組みが始まりました。私もAI/IoTリテラシー教育やフラー株式会社との協働教育、国際交流事業などでその一端を担わせていただいております。機会がございましたら懐かしい母校に足をお運びいただけますと、昔を思い返すとともに新しい時代に思いを馳せていただけるのではないかと思います。ご連絡いただければ私たち同窓会常任理事が校内をご案内いたしますので、お気軽にご連絡ください。

(高専電気電子3回卒)
電気電子システム工学科

田村 文裕



平成29年度4月1日より電気電子システム工学科で助教として勤務しております田村文裕と申します。平成22年度3月に電電3期生として本校を卒業後、長岡技術科学大学に編入学、高専時代に研究者への道を示してくださった恩師 恒岡まさき先生がご退官されるということで母校に帰ってまいりました。高専在学時は3、4年生の短期間でしたがラグビー部(平成21年度廃部)に所属し仲間とつらくも楽しい活動をしておりました。現在は水泳部顧問をしており、大会で活躍してもらうだけではなく、部活動を通して今しかできない体験、仲間づくりをしてもらいたいと日々過ごさせていただいております。母校長岡高専へ少しでも恩返しできるように日々精進してまいりたいと思いますので、今後ともご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願ひ申し上げます。

(高専電子制御15回卒)
電気電子システム工学科

和久井 直樹



2019年3月1日付で電気電子システム工学科の助教として着任し、常任理事を仰せつかっております。「将来一緒に何かやろう。」—こういった話をよく高専時代の同級生としていました。卒業から10年の月日が経ち、同級生は起業家として、私は教員として、それぞれの立場から母校での人財育成に携われることを嬉しく思っています。同窓生の皆様がより一層愛着を持てるような、そして関わりを持ちたくるような学校となるように尽力していく所存です。これからもご支援ならびにご指導ご鞭撻のほどどうぞよろしくお願ひ致します。

(高専物質工学7回卒)
総務課

佐野 緑



平成30年4月より総務課企画室で勤務しております。私は、平成17年3月に物質工学科を卒業後、長岡技術科学大学修士課程を修了しました。その後、民間企業で5年間、技術営業職を務め、東京都内の地方自治体職員へ転身し、環境保全に関する業務を行いました。現在は、企画室で国際交流に関する業務、特に学生の海外派遣のサポートを行っております。本校の国際交流は、私の在学中に比べて非常に活発になっており驚いています。また、留学生の受入れや、日本人学生の海外派遣のサポートに大変やりがいを感じております。これからも学生支援に尽力するとともに、長岡高専同窓会のお役に立てるよう努めていきます。どうぞよろしくお願ひいたします。

事業年表（平成28、29、30年度）

<平成28年度事業報告>

4月1日 同窓会常任理事就任(小島氏)
6月22日 第1回常任理事会開催
5月25日 新会員データ入力、名簿データの修正
7月9日 第14回機械工学科同級会見学対応
12月20日 基金積立
12月23日 名簿メンテナンス契約締結(1年間)
12月27日 同窓会報第19号発行
1月17日 同窓会長賞推薦依頼(学内教職員、1月31日締め切り)
2月7日 中途退学者への終身会費返還(31人)
2月9日 第2回常任理事会 同窓会長賞推薦候補者の選考
3月7日 平成28年度理事総会

<平成29年度事業報告>

4月1日 同窓会名誉会長(竹茂校長)、常任理事就任(陽田氏、田村氏)
6月23日 第1回常任理事会開催
7月12日 新会員データ入力、名簿データの修正
10月13日 高志会会員住所調査はがき 郵送
高志会便り 郵送
11月3日～5日 高志祭 ホームカミングデイ実施
11月17日 中途退学者への終身会費返還(31人)
1月9日 名簿メンテナンス契約締結
1月11日 同窓会長賞推薦依頼(学内教職員、1月31日締め切り)
2月6日 第2回常任理事会 同窓会長賞推薦候補者の選考
3月7日 平成29年度理事総会

<平成30年度事業報告>

4月1日 常任理事就任(酒井氏)
5月31日 新会員データ入力、名簿データの修正

6月21日 第1回常任理事会(学内)
9月25日 課外活動表彰支援
10月1日 中途退学者への終身会費返還(19名)
10月23日 高志会総会案内状送付
11月10日 土木工学科・環境都市工学科50周年記念同窓会
(会議費支援)
12月1日 平成30年度同窓会高志会総会
12月23日 名簿メンテナンス契約締結(1年間)
1月15日 同窓会長賞の推薦依頼
2月14日 第2回常任理事会(学内、同窓会長賞選考他)
3月9日 平成30年度理事総会

個人情報の取り扱いについて

同窓会高志会が収集した個人情報は、同窓会名簿の作成及び会報などをお送りするための宛名出力の付帯業務に使用することを目的としており、それ以外には利用いたしません。

収集した個人情報について、委託先も含め、機密保持には万全を尽くします。

自己情報を照会したい場合は、同窓会高志会までご連絡ください。本人であることが確認できた場合に限り、開示いたします。その結果、訂正または削除を希望される場合はそれに応じます。

● 振り込め詐欺にご注意ください ●

本校卒業生の家族宛てに、卒業生の名を騙り振り込め詐欺と思われる電話がかかってくるケースが多数報告されています。卒業生の方は、ご家族の方が振り込め詐欺の被害に遭わないように、連絡を取り合い、被害を防止するようお願いいたします。

同窓会では、平成22年度版を最後に名簿の発刊を中止しておりますが、同窓会名簿をお持ちの方は取り扱いに細心の注意をお願いいたします。

高志会の活動紹介

高志会は、長岡高専同窓会の発展と会員相互の親睦のために活動しています。主な活動として、(1)高志会総会の開催(2)同窓会報の発行(3)ニュースレターの発行の3つがあり、毎年1件ずつの3年のサイクルにて行っております。昨年度は高志会総会、今年度は会報の発行でしたので、来年度はニュースレターの発行になります。また、高志会の根幹となる会員情報の管理メンテナンス事業ですが、随時対応し、毎年更新して継続されています。冊子体による名簿の発行は廃止となりましたが、同級会の開催等のための用途別印刷紙面での提供は行っております。詳細については、事務局にお問い合わせください。

これら主な活動の他に、卒業式後に行われる学生表彰において、在校時に課外活動で優秀な成績を収めた卒業生に対して同窓会長が「同窓会長賞」を記念品と共に直接授与しています。また、卒業生、専攻科修了生全員に、卒業・修了証書カバーの提供を行っています。さらに、課外活動に熱心に取り組む在学中の学生にも支援を行っています。

これら高志会の活動や各種情報をホームページに掲載しております。是非ご覧ください。(URL: <http://www.nagaoka-ct.ac.jp/dousoukai/>)

また、令和2年度は、長岡高専が主幹校となって、関東信越地区高専同窓会交流会が開催されます。高専間での連携も進めていく予定です。高志会の更なる発展のため、皆様からの多くのご意見を頂ければ幸いです。

どうぞよろしくご意見致します。

(事務局 高専化学21回卒 小出 学)

編 集 後 記

日頃、同窓会の運営にご協力いただき、心から感謝申し上げます。学生の活躍が活発となり、様々なメディアで取り上げられることも多くなってまいりました。いろんな機会ですら「長岡高専」の文字を目にする機会が増えてきたという実感があります。本校をご卒業された方々におかれましても、そうした機会に触れ、かつて青春時代を過ごした学び舎を再び訪れてみたいと思われることもあるかと存じます。

本同窓会では、同級会を開催する際に校内を見学したいという、卒業生のご要望にお応えしております。中越震災後にH18年に校舎の復旧工事を行っておりますが、それ以前の名残も所々に残っております。ご来校された方々の「昔ここでこんなことをしたなあ」「まだあったのか」等のお声を伺うことがよくあります。また、新しくなった部分や、様々な新たな取り組みなど、最新の長岡高専をご紹介させていただき、感心いただくこともあります。見学等のご要望などがありましたら、是非、同窓会事務局までご連絡ください。

今後とも皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

(高専電気29回卒 島宗 洋介)

長岡工業高等専門学校同窓会高志会

〒940-8532 長岡市西片貝町888

長岡工業高等専門学校内

電話：0258（34）9442

電子メール：kosikai@nagaoka-ct.ac.jp

ホームページ：

URL：<http://www.nagaoka-ct.ac.jp/dousoukai/>